令和３年度　七宗町立神渕小学校　校報 No.３

かぶち

令和３年５月２８日

連携して動く教育活動

校　長　　木村　正男

コロナ禍にあり、様々な対策をした生活は続いていますが、学校生活は継続しています。そして、今後も続けていきます。昨年度のような学校を休業措置とすることは、余程の事が無い限りはしません。

現在の神渕小学校では、朝から元気よく子どもたちの登校する姿が見られ、気持ちのよい挨拶も聞こえてきます。始業前から、校庭で遊ぶ姿も多く見ます。マスク着用は必須ですが、朝の会で気持ちの良い歌声も聞こえてきます。委員会の活動も始まり、計画委員会（児童会）が中心になって挨拶運動も始まってきました。図書委員会、給食保健委員会、運動美化委員会の活動もそれぞれに動き出しています。高学年の児童が中心となって、「自ら考える」学校生活は広がってきています。今後は、学年を超えた「なかよし班」（縦割り集団）による「なかよし遊び」も始まります。既に掃除では「なかよし班」による活動も始まっていますが、この縦割りによる活動が、さらに広がることになります。

子どもたちは、制限のある生活の中でも、元気に学校生活を送っています。このように日々の活動を充実させることができるのも、保護者の皆様や地域の皆様の普段からのご理解とご協力があるからこそと感じています。本当にありがとうございます。自分が赴任して２年目になりますが、本当に保護者や地域の皆様のご支援をいただき神渕小学校の生活は成り立っていると感じていることが多いです。

例を２つ挙げます。１つ目は「資源回収」です。昨年度のＰＴＡ広報誌にも書かせていただきましたが、とてもスムーズに回収が進んでいきます。今年度も大人だけの手による回収活動とはなりましたが、本当に皆さんによる協力体制が整い、スムーズに作業を進めていただくことができました。自分の担当ではない箇所でも、作業を協力して動いていただけるので、無駄がありません。昨年度の３回目がなかったので、回収量は多かったですが、効率よく短時間ですませることができました。お忙しい中ありがとうございました。

２つ目は、「引き渡し下校」です。天候による状況から町教委の指導も受けて、引き渡し下校にしなければならないと判断し、39 メールでお知らせをしました。メールを発信してからお迎えに来ていただくまでが、本当に短時間でした。こちらの受付準備が追い付かない程でした。次々と引き渡し活動が続き、10:45 からの引き渡しが正午には完了していました。このような短時間で完了させることは、自分の経験からしてあまりないことです。急なことでしたが、本当にありがとうございました。

このような協力体制があるからこそ、神渕小学校の子どもたちの学校生活は、より充実しています。まだまだ続く、感染症予防対策の日々です。今後の状況次第では、どのように生活様式が変わっていくのか予測がつかない部分もありますが、どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。